

シラバス詳細

IPE科目														
授業科目名														
カリキュラム2019														
ヒューマンケア体験実習 Human Care : Practicum														
No.	時間割番号			開講時期				曜日・時限						
1	100300201			前期				集中						
2	200300201			前期				集中						
ナンバリング														
B_IPE1300														
配当年次 および 必須 (○)・選択 (○) の別														
No.	看護	編入	理学	作業			社福		福子	行動		検査	口腔	教職
							専攻	編入		専攻	編入			
1	1○	3○	1○	1○			1○	3○	1○	1○	3○	1○	1○	
2	1○		1○	1○			1○		1○	1○		1○	1○	
履修における注意点・履修条件等														
なし														
科目責任者	久保田 富夫			単位数・時間数	1単位 45時間				授業形態	実習				
科目担当者	國澤尚子、徳本弘子、新村洋未、東宏行、水間夏子、田上豊、鈴木康美、吉村基宜、田中広美、青森広美、小野仁美、森正樹、田中健一、上原美子、滑川道人、栗田卓也、高柳雅朗、原和彦、田口孝行、須永康代、木戸聡史、国分貴徳、高崎博司、荒木和美、久保田富夫、笹尾久美子、鈴木貴子、小池祐士、上原栄一郎、柴田貴美子、坂井博通、島崎美登里、若林子ヒロ、林恵津子、森田満理子、牧野由理、越智幸一、内山真理、八十島崇、新井智子、佐藤玲子、廣渡祐史、岸井こずゑ、矢野哲也、江良裕子、高橋宏至、武田美津代、高橋綾、松下誠、安藤克己、村井美代、吉田隆、新井恵													
科目に関連する実務経験														
授業の概要														
<p>「ヒューマンケア論」で学んだことを、保健・医療・福祉の実践現場にて実際に体験し、援助を必要とする人々・保健医療福祉に携わる人々・グループメンバーなどと直接的に関わることによって、</p> <p>①自己の人との関わり方を客観視する姿勢、</p> <p>②グループメンバーと協力し合う姿勢、</p> <p>③援助を必要とする人々のニーズや保健医療福祉に携わる人々の役割へ関心を向ける姿勢、</p> <p>④多様な人間観・価値観を理解しようとする姿勢を養う。</p> <p>それらを通じて、援助職者間の「連携と統合」における実践上の基盤をつくる。</p>														
学習のねらい														
保健医療福祉に携わる者として、健康や生活上の課題を持つ人々へ働きかけを行うにあたって専門的な知識と技術、そして豊かな人間性と高い倫理性を身につけることが求められる。対象となる人々の健康状態や生活のありようや思いを理解し、その人の立場で考える態度を涵養することは、5つの学科に共通する基本的な事柄である。5つの領域に共通する基本的な働きかけを「ヒューマンケア」と捉え、ヒューマンケアに基づく連携を目指す。														
関連するディプロマポリシー														
対象者の理解・倫理観	客観的・批判的思考			多目的・専門的	連携・統合				国際的・地域					
○					○									
授業の到達目標及び授業概要														
回	授業の到達目標			授業概要				担当教員			講演者			
全回	本科目の目的・目標を理解する。			<p>1. オリエンテーション</p> <p>日時：7月31日（金）3・4限</p> <p>3限（13：15～）：全体オリエンテーション（講堂）</p> <p>* 学生受付：12：30～</p> <p>4限：施設別オリエンテーション（各教室・演習室等）</p> <p>※実習施設（担当教員）によって、4限の施設別オリエンテーションは別日に開催されることあり。その場合でも、3限は出席すること。</p>				久保田、國澤、徳本、新村、東、水間、田上、鈴木、吉村、田中、青森、小野、森、田中、上原、滑川、栗田、高柳、原、田口、須永、木戸、国分、高崎、荒木、笹尾、鈴木、小池、上原、柴田、坂井、島崎、若林、林、森田、牧野、越智、内山、八十島、新井、佐藤、廣渡、岸井、矢野、江良、高橋、武田、高橋、松下			□			

			、安藤、村井、吉田、新井
全回	<p>【目標】</p> <p>1) 学生として保健・医療・福祉の実践現場で学ぶときの態度・マナーを身に付ける。</p> <p>2) コミュニケーションの大切さに気づき、具体的な場面における適切なコミュニケーションのとり方を自分なりに模索する。</p> <p>3) 援助を必要とする人々の社会的背景や生活状況、ニーズ、人生観、価値観などの多様性を理解する。</p> <p>4) 保健医療福祉に携わる人々の仕事内容（援助を必要とする人々に向かう姿勢）、援助を必要とする人々のニーズを知り、それぞれの援助職者がどう関わり合っているのか、また、どう関わり合うべきか、援助職者の連携や協働した援助活動のあり方を学ぶ。</p> <p>5) 体験を通して自分自身を振り返り、援助職に携わる者としての姿勢を考える。</p> <p>6) グループ活動についてリフレクションができる。</p> <p>7) 地域社会における各保健・医療・福祉の実践現場の位置づけ、機能、役割を理解する。</p>	<p>2. 体験学習の実施 実施時期：9月25日(金)～10月1日(木)の間の4日間(施設で異なる) ※この期間は予定を入れないこと。</p> <p>3. 実習の概略</p> <p>1) 実習場所：病院、老人保健・福祉施設、障害児・者福祉施設など保健医療福祉に関連する保健・医療・福祉の実践現場を実習場所とする。</p> <p>2) 実習方法</p> <p>① 5学科から構成される4～10名を1グループとして編成する。</p> <p>② 基本的に2グループで1名の実習指導教員が担当する。指導及び実習の調整は、各実習指導教員が主体となり、施設側と連携しながら行う。</p> <p>③ 実習に先立って施設の概要を紹介する。各保健・医療・福祉の実践現場における対象者の健康や生活の障害の状況、及びそこで働く職員の概要について情報提供する。</p> <p>④ 保健・医療・福祉の実践現場では、対象者とのふれあい、コミュニケーション、および見学等を中心にした実習を行う。</p> <p>⑤ 実習中に、可能な限り実習先の職員、指導教員等を含めた意見交換会を行い、体験学習を深める。</p> <p>(注)実習に先立って、夏季休業中に事前のオリエンテーションが行われる施設があることに注意(要参加)</p>	久保田、國澤、徳本、新村、東、水間、田上、鈴木、吉村、田中、青森、小野、森、田中、上原、滑川、粟田、高柳、原、田口、須永、木戸、国分、高崎、荒木、笹尾、鈴木、小池、上原、柴田、坂井、島崎、若林、林、森田、牧野、越智、内山、八十島、新井、佐藤、廣渡、岸井、矢野、江良、高橋、武田、高橋、松下、安藤、村井、吉田、新井
全回	実習内容の共有、およびリフレクションが実施できる	<p>4. 実習報告会（リフレクション・報告会） 日時：10月2日（金） 9:00～ 9:30 全体リレーション（講堂） 9:30～12:00 施設別 実習リレーション 13:00～13:40 施設別 グループ活動リレーション 14:00～16:30 全体発表会</p> <p>* 援助を必要とする人々および施設職員との関わりや実習中の出来事などの事実をもとに、目標に掲げた点について、グループ内および全体で検討し、共有する。</p> <p>5. レポート提出 〆切：10月9日（金）18:00</p>	久保田、國澤、徳本、新村、東、水間、田上、鈴木、吉村、田中、青森、小野、森、田中、上原、滑川、粟田、高柳、原、田口、須永、木戸、国分、高崎、荒木、笹尾、鈴木、小池、上原、柴田、坂井、島崎、若林、林、森田、牧野、越智、内山、八十島、新井、佐藤、廣渡、岸井、矢野、江良、高橋、武田、高橋、松下、安藤、村井、吉田、新井

授業計画に関する特記事項

実習までの間にメール連絡、必要書類のWeb Classへの掲載があるので、学生同士で連絡を取り合って、見落とし、見忘れが無いようにすること。
「実習施設への学生配置表」および「実習施設詳細」は、各個人のタブレット端末で閲覧すること。（全体に印刷して配付はしない）（7月中旬までに決定）

教科書

- 1) 「ヒューマンケア体験実習 履修の手引き」（7/31までに配付、またはWeb Classに掲載）
- 2) IPWを学ぶ－利用者中心の保健医療福祉連携－（中央法規）

参考書、教材等

評価方法

実習状況（含出席状況）と実習報告会での発表、課題レポートから科目の目標に到達しているかどうかを総合的に評価する。
オリエンテーションも含め、遅刻・欠席については厳しく評価する。

授業外における学習方法

ヒューマンケア論の授業内容を各自で振り返ってみてください。
実習施設は、高齢者・知的障害・精神障害者施設など多岐にわたります。各自の専門領域が直接的に関係する施設で実習できるとは限りませんし、この実習はそのように配慮する必要はない実習です。ですので、自分が実習する施設、および利用者について理解するよう、実習までに自主的に学習してください。

学習上の助言や授業改善に関する教員からのコメント

保健医療福祉のサービスを必要とする人々の健康や生活の営みに直にふれ、ヒューマンケアの意味を自己に問いかけてください。社会的なマナーを身に付けておいてください。また、実習施設についての事前学習は、各自で自主的に行っておいてください。到達目標に到達するためにどのような行動をしたらいいのか自分で考えてください。

細菌検査費用、実習施設までの交通費、施設での食事代等は自己負担となります（実習移設によって異なる）。
* 必要書類が期限までに提出できない場合、本実習に参加できなくなることがありますので、提出期限を必ず守ってください。

授業における講演者（ゲストスピーカー）の情報

回	講演者氏名	講演の概要	備考
---	-------	-------	----

--	--	--	--

最終更新日: 2020/04/06 08:31

印刷

閉じる